

太工通信

令和7年度第2号

「デジチャレ」研究成果を堂々発表！

多様な研究、調査発表

伊勢崎で7高校の生徒48人



発表する太田工業高の生徒

県のデジタル人材育成事業「群馬デジタルイノベーション」の成果発表会が30日、伊勢崎市のスマーク伊勢崎で開かれた。7高校の生徒48人がこれまでの取り組みについて紹介した。

7高校の生徒は、それぞれの目標達成に向けて専門家の助言を受けたり、企業を訪問したりして、研究を進めてきた。前橋高の生徒は、一時停止標識を認識する自転車のブレーキシテムを開発していると説明。藤岡中央高の生徒は、桜山公園（藤岡市）の冬桜の樹勢が衰えている原因を調べるため、データを集めていると紹介した。

コメントで、新規

事業の開発支援などを手がける「シーホース・スタジオ」(東京都)の中井健太CEOは「自分がこの取り組みを好きだと思っことが最も大事。それを大切に頑張っしてほしい」と激励した。

デジチャレは2022年度に開始。本年度は前橋の科学・物理部、前橋東の理科部、藤岡中央のF.C.Lab、桐生の物理部、太田工業の美術部とパソコン研究部、富岡の理科部、高崎の物理部を支援対象とした。また、小学生がプログラミングなどを学ぶ「地域ICTクラブ」を、伊勢崎、沼田、館林、安中の4市で実施した。

(丸岡美貴)